





安全上のご注意


- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)





図記号の意味と例

	Ⓞは、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、Ⓞの中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグ (ACアダプター) をコンセントから抜くこと」を示します。)

警告

 禁止	交流100V以外では使用しない。 電圧の違うところ・自動車・船舶などの直流電源には接続しないでください。 火災・感電の原因になります。	雷が降り始めたら、ACアダプターに触れない。 感電の危険があります。	 指示	電池からもれた液が目に入ったときは、こすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける。 失明や目に障害を負う恐れがあります。
	日本国内以外で使用しない。 本機は日本国内専用です。	本機に対してスプレー式のエアダスターを使用しない。 本機の内部にガスがたまった場合、引火して爆発する原因になります。		取りはずした電池の扱いに注意する。 幼児の手の届かないところに保管してください。電池を口に入れたり、ショートさせたりすると事故の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。	温度の高いところ、水蒸気が多いところ、湿度が高いところ、直射日光が当たるところ、屋外、振動の多いところに設置しない。 火災・感電故障の原因になります。	 プラグを抜く	使用しないときは、必ずACアダプターをコンセントから抜く。 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。
	電源コードが傷んでいるとき、本体のDCプラグの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。	ろうそくなど、炎が出るものを近くに置かない。 炎が近づくと、火災の原因になります。		お手入れのときは、安全のためACアダプターをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。
	ACアダプターを、乳幼児の手のとどくところに置かない。 コードが誤って首に巻きついたりして事故の原因になります。	異常時 (こげ臭い・発煙など) はACアダプターを抜き、使用中止する。 火災・感電の原因になります。 ACアダプターをすぐに抜くことができるように、容易に手が届く位置のコンセントを使用して設置してください。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人による修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。 修理は販売店または「ドウシヤお客様相談室 (裏表紙参照)」にご相談ください。
	子供だけで使用させない、また幼児の手の届くところでは使わない。 けが・感電の原因になります。	ACアダプターはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。		 ぬれ手禁止
本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。	ACアダプターの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合は拭き取る。 ホコリが付着したままACアダプターを差し込むと、ショート・火災の原因になります。	 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 本機の上に水の入った容器や桶木鉢などを置かないでください。 ショート・感電の原因になります。	
強い衝撃を与えたり、本体を落下させたりしない。 衝撃を与えたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、点検修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因になります。				

⚠️ 注意

 禁止	次のようなところでは使わない。 ●ガスコンロなど炎の近く ●引火性のガスがあるところ ●雨や水しぶきがかかるところ ●ほごりの多いところ 変色・変形・火災・感電の原因になることがあります。	 禁止	お手入れのときは住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。	 指示	廃棄するときは、電池を抜く。 そのまま廃棄すると、思わぬ事故の原因となります。電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。
	熱のごもりやすい狭い場所、自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。 キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災や感電の原因になります。		上にものをせたりしない。 内部に入ったとき、感電や火災・故障の原因になります。		音量に注意する。 使用前には音量を最小にするようにし、使用中も音量を大きくしすぎないように注意してください。長時間、耳を刺激する大きな音量で聴き続けると、聴力に悪い影響を与えます。
	不安定な場所・傾斜のある場所で使わない。 転倒や落下で、けが・故障の原因になることがあります。	電池の極性に注意する。 電池をセットするとき、電池の+（プラス）と-（マイナス）に注意し、正しく入れてください。電池の破裂や液もれにより、火災・けが・故障の原因になることがあります。	接続に注意する。 本機の入力端子へ接続した機器の過大信号によっては、本機を傷めたりすることがあります。正しい接続をしてください。		
	指定以外の電池を使用しない。 電池の破裂や液もれにより、火災・けが・故障の原因になることがあります。	 指示	持ち運びするときはACアダプターや外部機器を取りはずして、本体の下部を持って移動する。 けが・故障や外部機器の破損の原因となります。		
電池は直射日光が当たる場所など高温になる場所に置かない。 液もれや破裂・火災などの原因となります。	長時間使用しないときはバックアップの電池を抜く。 長時間入れたままにしておくと、液漏れによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因になります。				

ご使用になる前に

ボタン電池について

ボタン電池を扱うときには

- ・指定以外のボタン電池は使用しない。
- ・極性表示を間違えないで挿入する。
- ・水や火の中に入れたり、充電・加熱・分解・ショートしない
- ・液漏れがおきたら使用しない。

ボタン電池はもちろん、本体も液が付いた状態で使用すると危険なため、直接触れずに拭き取るようにしてください。万が一、液が体が付いてしまった場合は、水で十分に洗い流すようにしてください。

- ・長時間使用しないときは、ボタン電池を外しておく。
- ・使用後は、必ず各自治体の指示に従って処分する。

FM補完放送について

FM補完放送(ワイドFM)

- ・AM放送の放送区域において難聴・災害対策のため、FM放送の周波数(従来の76.1~89.9MHz新たに設定された90.0~94.9MHz)を用いて、AM放送の補完的な放送をしています。

本機はFM補完放送に対応しています。

- ※ FM補完放送を実施している放送局、周波数、聴取エリアなどは地域によって異なります。
詳しくは各地域の放送局ホームページなどを確認してください。

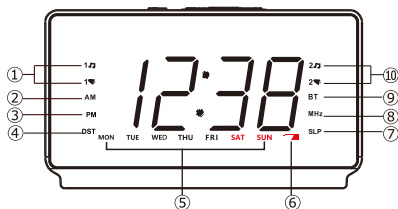
免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤った取扱・故障・その他の不都合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

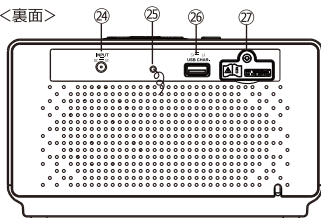
製品の故障・誤動作または不都合による外部機器等への記録された内容の損害及びお客様または第三者が製品利用の機会をのがしたために発生した損害等、付随的損害の補償については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

各部の名称とはたらき

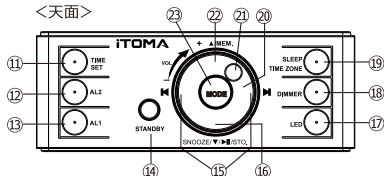
<正面>



<裏面>



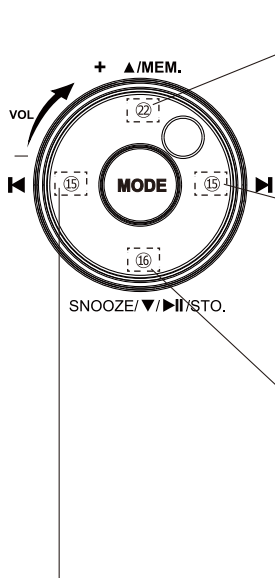
<天面>



名称	機能
正面表示部	
① アラーム1入/切表示 (ラジオ ♪/プザー ◀)	アラーム1の設定状況を表示します
② AM 午前表示	午前の表示です
③ PM 午後表示	午後の表示です
④ 夏時間表示	スリープタイマー入/切を表示します。
⑤ 曜日表示	曜日の表示です
⑥ 電池残量表示	内蔵電池の残量を表示します
⑦ SLEEP スリープタイマー表示	夏時間設定の状態を表示します
⑧ ラジオ受信周波数単位表示	ラジオ受信周波数の単位です。
⑨ BTBluetooth接続表示	Bluetooth接続状態を表示します
⑩ アラーム2入/切表示 (ラジオ ♪/プザー ◀)	アラーム2の設定状況を表示します
天面操作部	
⑪ TIME/SET時刻設定	時計設定時、時間、分、月、日、年を設定します
⑫ AL2 アラーム2 設定	アラーム2の設定をします。
⑬ AL1 アラーム1 設定	アラーム1の設定をします。
⑭ STANDBY 電源入/切	ラジオとBluetoothの電源入/切をします。
⑮ 戻り/次に移動	各モードの設定時/選局/曲の移動設定をします。
⑯ SNOOZE/▶/ /STP. スヌーズ/ダウン/一時停止/停止	スヌーズ機能開始、時計設定/ラジオ放送局プリセット設定、Bluetooth接続時、音楽の再生/一時停止をします。
⑰ LED ナイトランプ入/切	LED ナイトランプの入/切をします。
⑱ DIMMER LED 輝度調整	LEDの輝度を設定します。
⑲ SLEEP/TIME ZONE スリープタイマー/標準時間帯設定	スリープタイマーと標準時間帯を設定します。
⑳ 機能操作キー	各モード時のそれぞれの機能を操作します。(詳細は5ページ)
㉑ VOL +/- 音量調節	音量を調整します
㉒ ▲/MEM.RECALL	時計・アラーム設定とラジオのプリセット局を選択します。
㉓ MODE モード切替	ラジオとBluetoothのモードの切り替をします。
裏面部	
㉔ DC 5V IN 電源入力端子	イヤークフォンを接続します。
㉕ FM アンテナ	付属のACアダプターのDCプラグを接続します
㉖ USB充電端子	FMラジオ受信用のアンテナです。
㉗ バックアップ電池ホルダー	外部機器への給電ができます (DC5V/1.0A) バックアップ用ボタン電池が収納されています

5-in-1操作ノブの機能

- 本機の天面には多機能を一つのつまみで操作可能のダイヤル操作ノブを装備しています。
- それぞれのモードで機能は以下となります。



- 時計・アラーム設定時：
 - ①「時間」、「月」、「年」を繰り上げ
 - ②アラーム設定時「時間」を繰り上げ
- ラジオモード時：プリセット済みの放送局を選択

- 時計・アラーム設定時：
 - ①「分」、「日」、「年」を繰り上げ
 - ②「12 時間表示と 24 時間表示」の切り替え
 - ③アラーム設定時「分」を繰り上げ
- ラジオモード時：
 - ①放送局の選択
 - ②プリセット済み放送局の選択
 - ③プリセット時のプリセット番号の繰り上げ
- ブルートゥースモード時：次の曲に移動

- 時計設定時：
 - ①「時間」、「月」、「年」を繰り下げ
 - ②アラーム設定時「時間」を繰り下げ
 - ③SNOOZE 機能の「入」
- ラジオモード時：
 - ①長押しで、プリセット番号の表示
 - ②プリセット設定
- ブルートゥースモード時：再生/一時停止

- 時計・アラーム設定時：
 - ①「分」、「日」、「年」を繰り下げ
 - ②「12 時間表示と 24 時間表示」の切り替え
 - ③アラーム設定時「分」を繰り下げ
- ラジオモード時：
 - ①放送局の選択
 - ②プリセット済み放送局の選択、
 - ③プリセット時のプリセット番号の繰り下げ
- ブルートゥースモード時：前の曲に移動

使用前の準備

■ 梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

※本体..... 1 個 ※ACアダプター..... 1 個 ※取り扱い説明書.....1冊
※バックアップ電池 (CR2032)動作確認用..... 1 個 (本体に装着済)

バックアップ電池について

本機には、時計用のバックアップ電池が装着済みです。

※ 付属の電池は動作確認用です。新品の電池と比べて短時間で寿命になります。

バックアップ電池の交換

バックアップ電池が消耗すると AC アダプターをコンセントから抜いた場合に現在時刻がリセットされます。

バックアップ電池の残量が少なくなると、時刻表示の右下に赤色電池マークが点灯します。

その場合は新しい電池に交換をしてください。

【交換用電池：CR2032】

電池交換のしかた

- 1 本体裏面のバックアップ電池ホルダーの固定用ネジをお手持ちのドライバーではずす
- 2 バックアップ電池ホルダーを引き抜く
- 3 電池面の上側が③のまま電池の端を押し込んで電池をはずし、逆の方法で電池をホルダーにはめ込む
- 4 バックアップ電池ホルダーを本機に差し込み、固定用ネジを取り付ける



電池の誤飲防止として、電池ホルダーの固定用ネジは必ず取り付けてください。

ACアダプターの取り付け

本体裏面の電源入力端子に付属のACアダプターのDCプラグを差し込んでACアダプターの電源プラグをコンセントに差し込む。

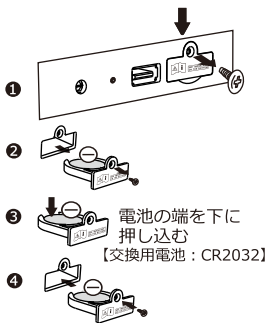
※通電すると本体のディスプレイに「0 : 0 0」が点灯表示されます。



- 電源コードは必ず先に本体側端子に接続してから、電源プラグ (ACアダプター) をコンセントに差し込む。
- 濡れた手で電源プラグを扱わない。感電・火災の原因になります。
- バックアップ電池が消耗した状態で電源プラグをコンセントから抜くと時刻表示がリセットされます。



電池マークが表示されると電池を交換します。



現在時刻の設定

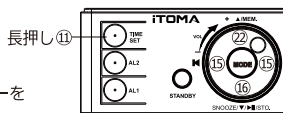
以下の手順で時計を合わせてください。

- 時刻を設定するとアラームタイマー機能が使用可能となります。(⇒ 8 ページ参照)

ACアダプターを接続後、表示が点滅をし始め、最終的に「前回設定した時刻」で点灯表示され、その後放置しておくとも自動的に時刻を表示します。その状態から、設定を開始します。

- 点灯に切替わると設定できませんので、再度「**⑩TIME・SET時刻設定**」キーを長押しします。

- 「**⑩TIME・SET時刻設定**」を長押しすると表示全体が点滅します。
この点滅状態の時に、
「**時間**」設定…「**⑩SNOOZE** ダウンキー」と「**⑫▲/MEM** アップ・メモリーリコール」キーを押して「時間」を設定します。
「**分**」の設定…「**⑮**戻り・次」キーを押して「分」を設定します。
↓設定後、再度「**⑩TIME・SET**」キーを押す



まず最初に
表示全体が点滅



- 「**月**」の設定
この点滅状態の時に、「**⑩SNOOZE** ダウン」キーと「**⑫▲/MEM** アップ・メモリーリコール」キーを押して「月」を設定します。
↓設定後、再度「**⑩TIME・SET**」キーを押す
- 「**日**」の設定
この点滅状態の時に、「**⑮**戻り・次」キーを押して「分」を設定します。
↓設定後、再度「**⑩TIME・SET**」キーを押す
- 「**年**」の設定
この点滅状態の時に、「**⑯**操作キー」上の「**⑮**、**⑰**、**⑳**」のいずれかを押しして「年」を設定します。
↓設定後、再度「**⑩TIME・SET**」キーを押す
- 「**12 時間表示**」か「**24 時間表示**」を「**⑯**操作」キー上の「**⑮**、**⑰**、**⑳**」のいずれかを押しして設定します。

※ ここまで設定した後に、更に「夏時間設定」設定モードが表示される場合は、以下の方法で設定します。

夏時間設定について

日本では、設定必要ありませんので、この機能を「OFF/切」にしておきます。

- 「**⑫▲/MEMORY RECALL** アップメモリー選択」キーを8秒ほど長押ししますと、表示は右図の様になり、右下の「DST」も点滅します。
- 同じく「**⑫▲/MEMORY RECALL** アップメモリー選択」キーを押して右図の文字が表示される様選択します。
- 設定が完了しますと、点灯に変わり、「DST」表示も消えます。



そのまま放置して設定完了

現在時刻とカレンダーをチェックする

「**⑩TIME・SET**」キーを押すごとに、「日付」→「年」→「時刻」表示に戻ります。

アラームの設定

- 設定する前に、現在時刻とカレンダーをチェックする（方法は7ページに記載）

アラームタイマーを使う

- 本機は2パターンのアラームタイマーを設定することができます。

（AL1=アラーム1）と（AL2=アラーム2）

- 設定した時間に、設定したモードで、設定した音量で再生します。（設定音量はラジオ場合のみで有効です）。

- アラームブザーとラジオの音量は、最初は小さく再生し、段階的に大きくなり、最終的に20秒ほど後に設定音量となります。

※AL1とAL2を同じ時間に設定した時は、AL1が優先します。



AL1(アラーム1)を設定する

- ※この設定は時刻表示モード時に設定します。（FMラジオ/Bluetoothモード時は設定できません。）

- ※設定順序は、「時間/分」⇒「音量設定」⇒「アラーム起動日」となります。

- ①「⑬AL1アラーム1」キーを長押しすると、前回設定したアラーム時刻の「時刻表示」が点滅します。

- ②この点滅状態の時に、「⑳操作」キー上の「⑮、⑯、㉑」キーを押して、希望の「時間と分」を設定します。

- ③この後、更に「⑬AL1アラーム」キーを押して、「ラジオで目覚まし」設定した場合の音量を設定します。その時次の表示が点滅します。

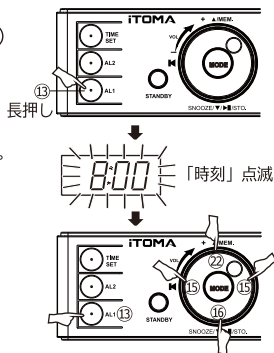
U08 (点滅)

ラジオの音量レベルは最大「U15」迄選択可能ですので、好みの音量を設定します。

- ④この点滅中に、再度「⑬AL1アラーム」キーを押して、起動日を選択します。このキーを押す毎に、「毎日→平日（月～金）→週末（土/日）→単独曜日指定」の順序で設定可能です。

- ⑤設定後、再度「⑬AL1アラーム」キーを押して「アラーム音の選択」と「入/切」を選択します。ラジオ選択 が点灯⇒ブザー音 選択⇒アラーム「切」アラームアイコンが消えます。⇒再度押しすと、このモードの繰り返しとなります。

- ⑥そのまま放置して設定完了です。



AL2(アラーム2)を設定する

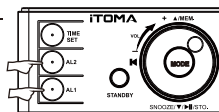
設定方法は「AL1(アラーム1)」と全く同じ方法です。

時計の便利な使用方法

アラームタイマーの入/切とアラーム音の選択をする

「アラームの停止」、あるいは「アラーム音の選択」は、同じキーを使用します。アラーム設定に使用したAL1/AL2キーを押す毎に、以下のモードになります。

「アラーム時間表示」→「ラジオ」(♪マークが表示)→
「ブザー音」(🔊マークが表示)→アラーム切
(ブザーとラジオのアイコンが消えます)



※仮に、その場に居合わせず、アラームを解除できない場合は、**1時間後に自動でアラームが停止**します。

聞き逃しや、寝過ぎを防ぐために。。。

「⑩SNOOZE スヌーズ」キーを押して、アラームを停止します。

※SNOOZEは「休眠」の意味合いから、再度復帰します。

一度押すと一旦、アラームは停止しますが、**9分後に復帰してアラーム音が鳴ります。**

※この「SNOOZE スヌーズ」モードの場合、「🔊ブザーマーク」あるいは「♪ラジオマーク」が点滅します。



完全停止したい場合は。。。

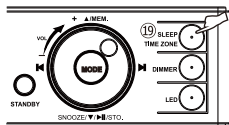
- ① 設定時に使用したAL1/AL2キーを押すか、「⑭STANDBY 電源」キーを押します。
※以後も同じアラーム時間を利用するなら、そのままとします。
- ② 以後このアラーム時間を再利用しないときは、設定時に使用したアラームキーを押し、音楽マーク♪とアラームマーク🔊が消えるまで、アラームキーを繰り返し押します。

スリープタイマーを使う

開始から電源を切る(スタンバイ状態)までの時間を**10分間隔で最大90分まで設定**できます。

就寝前に設定しておけば、音楽を聞きながらそのまま睡眠してしまっても心配りません。

- ① 「⑭STANDBY 電源入/切」キーを押し、スタンバイモードから、FMラジオ、またはBluetoothの再生可能モードにします。
- ② 「⑫MODE モード切替」キーでFMラジオか、Bluetoothのいずれかのモードを選択します。
- ③ 「⑪VOL +/- 音量調節」ダイヤルで好みの音量に設定します。
- ④ 「⑨SLEEPスリープ」キーを押す毎に、10分単位で最大90分迄を選択することができます。
この時、表示左下の「SLP」が点滅します
- ⑤ 設定した時間後に電源が切れます。又強制停止するには、「⑨SLEEPスリープキー」で「OFF」を選択するか、「⑭STANDBY 電源入/切」キーを直接押します。



30 再生時間表示



表示左下のこのアイコンが点滅

時計の便利な使用方法

ディスプレイの明るさの調整

ディスプレイ表示をお好みの明るさに変えることができます。

■自動調整機能

周囲の明るさに合わせて自動的に明るさを変えます。

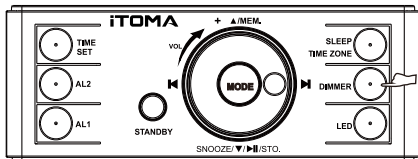
明るすぎて、睡眠の妨げにならないような明るさに自動調整します。

■手動で変える

「**ⓐDIMMER** 輝度調整」を押す毎に、4段階の明るさに変わります。

明るさの表示は、

「L3」最も明るい→「L2」中間の明るさ→「L1」最も暗い→「AU」自動→「L3」に戻る。



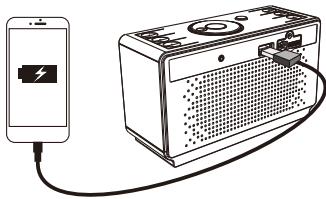
USB端子から外部機器への給電

本機の USB 端子でスマートフォンや携帯電話の充電をすることができます。

充電をする場合は、充電される機器の電圧／電流に適しているかご確認の上、ご使用ください。

(USB出力の定格は、5V/1.0Aです。)

※ **本機の USB 端子はメディアプレーヤー機能はありません。**



誤使用による USB 端子に関する免責事項

1. 本製品の使用・使用できなかったこと等から生じる付随的な損害、弊社が関与しない機器との組み合わせによる誤動作等から生じた損害に関しては弊社は一切の責任を負いません。
2. 天災・自然災害、第三者による事故、お客様の故意または誤使用、異常な条件下での使用、本書に記載している内容を守らない使用により生じた損害に関しては弊社は一切責任を負いません。